

A group of people are holding up several rectangular pieces of blue paper. Each piece features a white cutout design of willow leaves, arranged in a circular pattern. The background is a lush green lawn. The overall scene suggests a commemorative or artistic activity.

1本のいのちの下で

Under A-Bomb Tree Weeping Willow of HIROSHIMA 8/4-8/6 2024

1本のいのちの下で

Under A-Bomb Tree Weeping Willow of HIROSHIMA



ヒロシマには「被爆樹木」という木があります。

「あなたは被爆樹木を知っていますか？」被爆樹木とは1945年8月6日8:15に落とされた原爆によってダメージを受け、今も生き続けている樹木です。本企画は、この被爆樹木をもっと多くの人に知ってもらい、「今」について感じ、味わい、考え、交流する機会をつくりたいと、2017年から毎年実施し、今年で6回目の開催(※)となります。

この企画の代表を務める浅見は2012年被爆樹木に初めて出会いました。それから毎年、わたしたちと同じように生き、日々変化している「被爆樹木の時間」を感光紙に直接焼き付ける作品『呼吸する影-被爆樹木のフォトグラム-』を制作しています。その中で、1年に1枚だけ撮影することができる特別な制作があります。8/6の8:15に爆心地から最も近い370mで被爆した「シダレヤナギ」の撮影です。この作品制作を公開する他、企画趣旨に賛同し集まったアーティストたちが作品展示やワークショップ、ライブパフォーマンスを様々な場所で行います。

ぜひ被爆樹木とわたしたちに会いに来てください。木の下で語りましょう。皆様のご参加をお待ちしています。

(※:2018年~広島市青少年センターと連携。2020・2021年は、COVID-19の影響で中止)

●プログラム Program

8/4 (日)	①13:00-21:00	参加作家作品展示・活動紹介展示
	②13:30-15:00	写真ワークショップ「影をつかまえる」・アーティストトーク
	③16:00-17:00	ライブ・トーク・パフォーマンスイベント①
8/5 (月)	④13:00-17:00	参加作家作品展示・活動紹介展示
	⑤13:30-15:00	写真ワークショップ「影をつかまえる」・アーティストトーク
8/6 (火)	⑥ 8:15-9:00	作品公開制作(被爆樹木シダレヤナギの撮影を公開します)
	⑦ 9:00-10:00	ライブ・トーク・パフォーマンスイベント②
	⑧10:30-12:00	写真ワークショップ「BODY PRINT」
	⑨13:30-15:00	写真ワークショップ「影をつかまえる」・アーティストトーク
	⑩15:30-16:30	ライブ・トーク・パフォーマンスイベント③
	⑪17:00-17:30	フィナーレイベント

▶写真ワークショップ「影をつかまえる」・「BODY PRINT」



写真ワークショップ「影をつかまえる」は、カメラを使わないフォトグラムという手法で、被爆樹木シダレヤナギの影や、あなたの大切なもの、記憶の品の影を撮影します。(②:ポストカードサイズ・⑨:A6サイズの制作)「BODY PRINT」は等身大の身体の影を撮影します。(⑧:約115cm×200cmサイズ)

▶ライブ・パフォーマンスイベント



③・⑦・⑩は実施環境のロケーションを生かしたパフォーマンスを実施。

●開催場所 Venue

- ①・②・③・④ 広島市青少年センター1Fロビー他(広島県広島市中区基町5-61)
- ⑤ 広島市戸坂公民館(広島県広島市東区戸坂出2-10-26)
- ⑥・⑦・⑧・⑩ 被爆樹木シダレヤナギの下(広島県広島市中区基町14:爆心地から370m)
- ⑨・⑪ 紙屋町シャレオ西広場(広島県広島市中区基町地下街100号)

- ・プログラムの参加は一部有料です。(②・⑤・⑨は材料費として500円:⑧は材料費として11000円)
- ・イベント毎に、開催場所が異なりますのでご注意ください。
- ・平熱と比べて高い発熱が確認された方、及び風邪症状がある方、体調不良と思われる方は、未場・参加をお控え下さい。
- ・熱中症対策として、水分や塩分を補給できるもの、タオル等を持参してください。
- ・小学校4年生以下のお子様は保護者同伴でご参加ください。



被爆樹木シダレヤナギ Weeping Willow

現存する被爆樹木の中で、爆心地からもっとも近い370mで被爆した。原爆で地上の樹木は倒れたが、残った根元から芽を吹き出した。毎年、長く美しい枝葉でさらさらと風を梳く。



Life Garden

シンガーソングライター・画家

シンプルなギターと叙情的な歌詞で独自の世界を描くギター・ヴォーカル。また、油彩・鉛筆画・スプレー等さまざまな技法・素材によるビジュアルアート作品を制作。絵画・音楽表現を通じ人間の内に潜む哀しみや温もり、形にならない想いを表現する。



Wmika Mika Fujiwara

被爆樹木の絵本「きつときこえるよ」作家

2017年 絵本好きの主婦2人が、被爆樹木の声を届けたいと一念発起。多くの出会いと支えにより、1年8ヶ月かけて被爆樹木の主人公の絵本を制作。現在、絵本の読み手向け講習会や、被爆樹木の周知活動に取り組む。



浅見俊哉 Shunya Asami

写真作家・ワークショップデザイナー

本企画代表。「時間」と「記憶」をテーマに写真作品を制作。2012年からヒロシマの被爆樹木を毎年撮影している。ワークショップやアートプロジェクト、様々な地域の芸術祭の企画も多数手がけたの「場」づくりに積極的に取り組む。



もろえるり Ruri Moroe

ピアノ・ボイトレ講師

2019年〜さいたま市で音楽教室「Sound Free Joy」を開業。自己表現・音楽・自律を柱に、教育理念は「創造と個性を世界へ」。2022年より、「絵本と音楽プロジェクト」を活動中。



瑛伶 EIRAY

書家・アーティスト

埼玉出身。広島にルーツを持ち、幼少期から戦争とその背景にある社会構造に着目する。伝統的な書法や素材を用いながら人間の存在と意識、言語と社会の関係などをテーマに新たな表現方法を試みていく。



青木裕志 Hiroshi Aoki

音楽家・オーガナイザー

grandtreehouserecords、はなしプロジェクト代表。国内外問わず音楽に関わる組織、運営に表裏方として尽力。声、響、世界観の表現に特化。



Akane Akane Kouno

モデル・パフォーマー

埼玉県出身。インクルーシブな社会を目指し、ミュージカル、朗読劇などのパフォーマンスアートや、ファッションショー etc... 積極的にチャレンジしています。特別支援学校高等部3年生。グローバルモデルソサイエティ所属。



堤直人 Naoto Tsutsumi

立体造形作家を目指した元サラリーマンデザイナー

範のデザイナー、企業広告部での宣伝物制作を経て2019年より自由人となる。2023年から制作活動を再開。自然のものが美しいと感じることありませんか？

- 日時:2024年8/4(日)-8/6(火)
- 場所:被爆樹木シダレヤナギの下・広島市青少年センター・広島市戸坂公民館・紙屋町シャレオ
- 問い合わせ:082-228-0447(広島市青少年センター)E-mail:shunya.asami@icloud.com
- 主催:「1本のいのちの下で」運営チーム・広島市青少年センター・広島市戸坂公民館
- 企画協力:STAND COFFEE コトコト・祐源紘史・河島礼芽
- 協力:ご参加いただいた皆様
- ウェブサイト:https://underabombbedtreesp.wixsite.com/artproject

